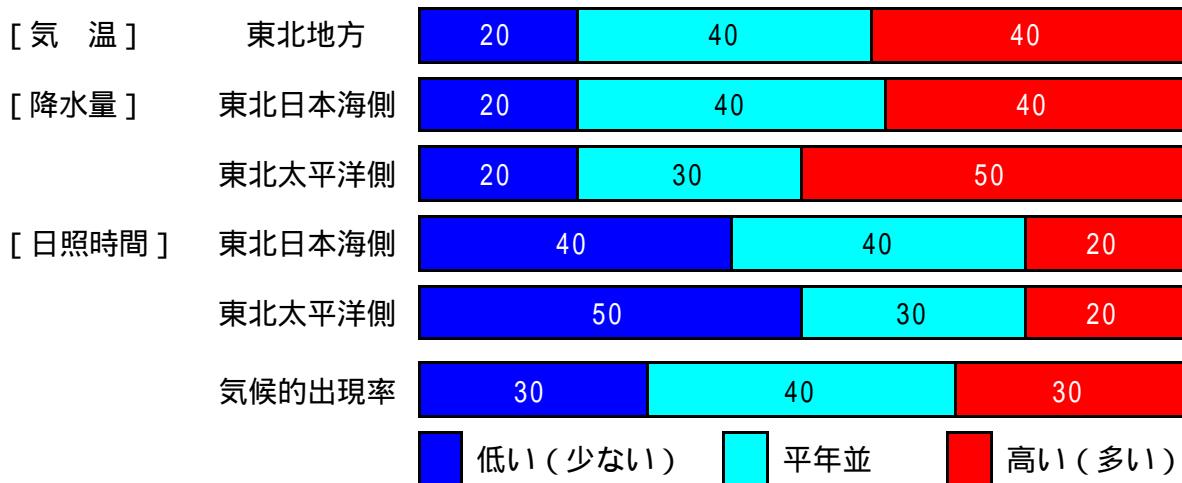


東北地方 1 か月予報の解説 (予報期間 : 8 月 14 日 ~ 9 月 13 日)

平成 11 年 8 月 13 日 仙台管区気象台

1. 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)



[気温]: 東北地方は「平年並」か「高い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40% です。「低い」の確率は 20% と小さい。

[降水量]: 日本海側は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40% です。「少ない」の確率は 20% と小さい。太平洋側は「多い」の可能性が大きく、その確率は 50% です。「平年並」の可能性は 30% で、「少ない」の可能性は 20% です。

[日照時間]: 日本海側は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40% です。「多い」の確率は 20% と小さい。太平洋側は「少ない」の可能性が大きく、その確率は 50% です。「平年並」の可能性は 30% で、「多い」の可能性は 20% です。

2. 予想される天候の特徴 (もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

向こう 1 か月

東北地方は、この期間高気圧に覆われ晴れる日もありますが、気圧の谷の影響を受けやすく、年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。日本海側の著しい高温状態は解消し、東北地方の雨の少ない状態は解消に向かっています。

この期間の平均気温は平年並か高い見込みです。平年の晴れ日数は約 15 日です。

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、期間のはじめは雨の強く降る所 (8 月 14 日 ~ 8 月 20 日) があるでしょう。

平均気温は高い見込みです。平年の晴れ日数は約 4 日です。

詳細は週間天気予報を参照して下さい。

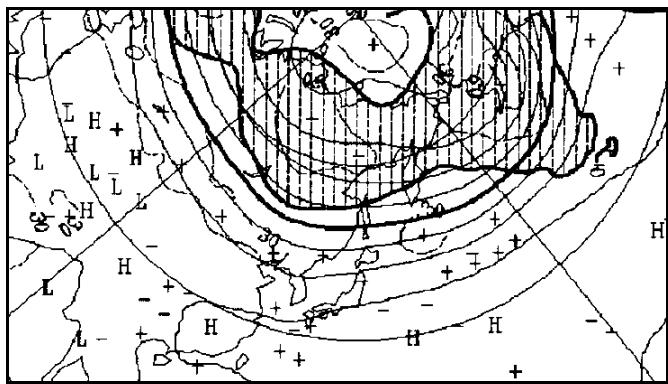
2 週目…………… 高気圧に覆われ晴れる日もありますが、気圧の谷の影響で天気がぐずつぐ時期があり、年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並の見込みです。平年の晴れ日数は約 4 日です。

3 ~ 4 週目…………… 高気圧に覆われ晴れる日もありますが、気圧の谷の影響で天気がぐずつぐ時期があり、年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並の見込みです。平年の晴れ日数は約 7 日です。

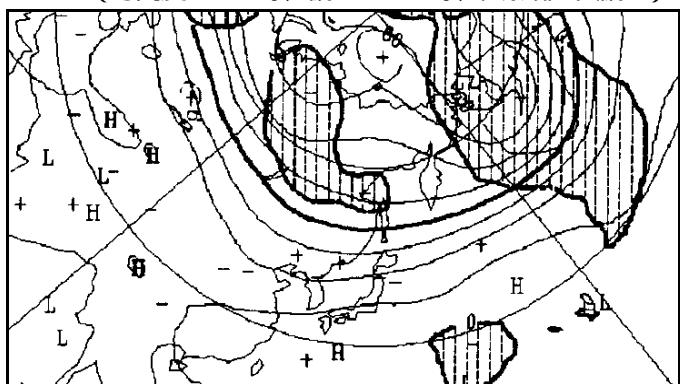
予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



・500hPa高度・偏差

月平均でみると、日本付近は広く正偏差に覆われるが、夏型の安定した晴天をもたらす太平洋高気圧は、日本の南海上に後退する予想となっている。

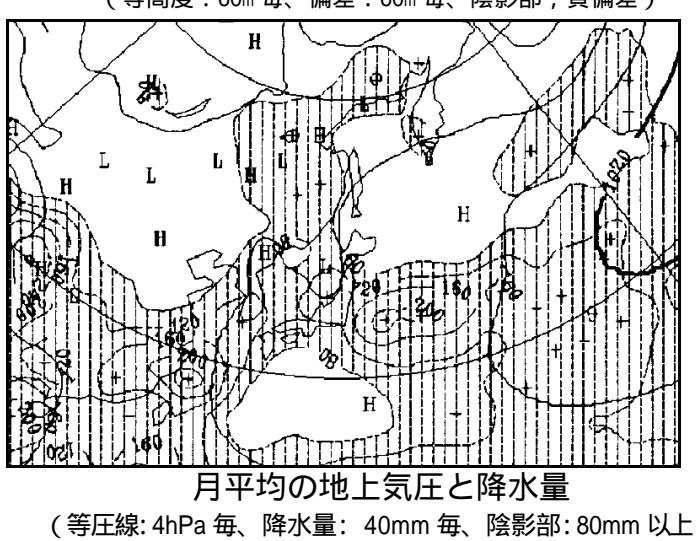
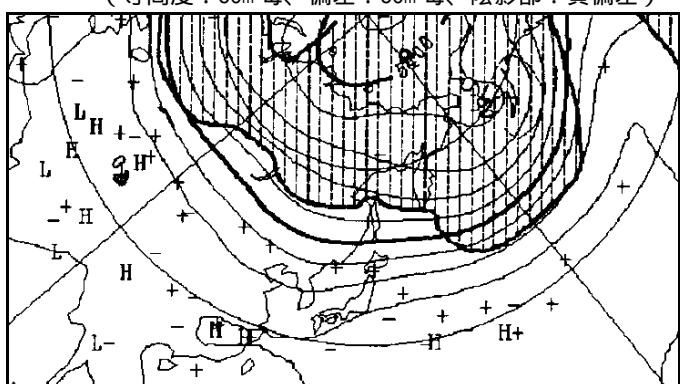
2週目、3~4週目とも月平均とほぼ同様の傾向を示しており、太平洋高気圧は、平年同様次第に弱まる見込みです。また、北海道を中心に東西流の卓越する流れの場となり、東北地方は低気圧や前線の影響を受けやすくなる。



・地上気圧と降水量

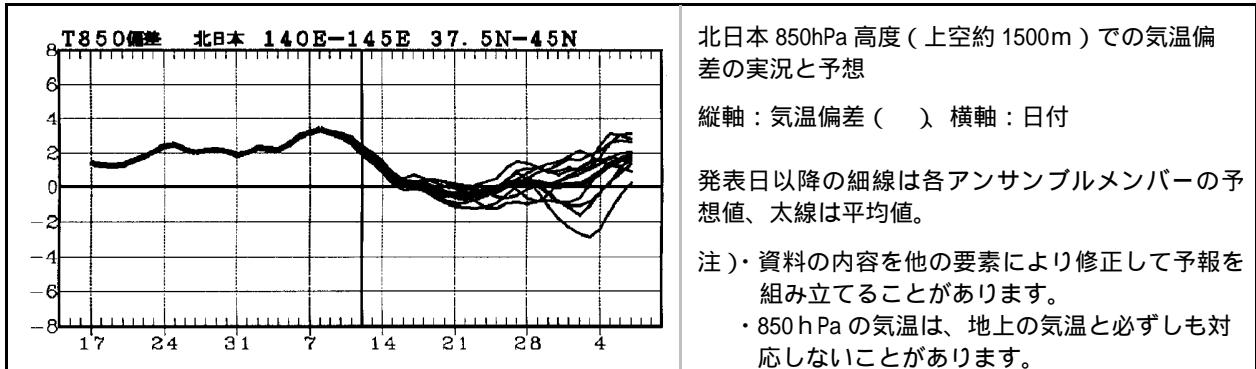
月平均では、太平洋高気圧は日本の南海上に張り出しているが、北海道の東方海上には別の高気圧が予想される。このため、日本付近は2つの高気圧の割れ目に入り、低気圧や前線の影響を受けやすい。

週別（図略）でも月平均図と同様の傾向が予想され、これまでの雨の少ない状態から、雨の降りやすい状態へと変わってくる見込み。



3. 北日本 850hPa の気温偏差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

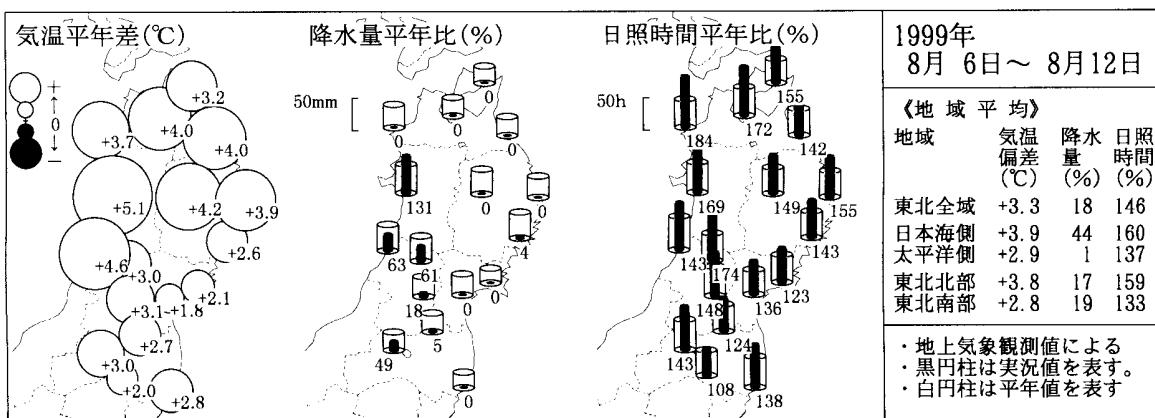
北日本 850hPa の気温は、アンサンブルメンバーの平均でみるとこれまで高めで推移してきたが今後下降し、1週目後半以降は平年並が予想されている。ただし、最近の傾向として予想より実況が高めに推移しているので、今回は予想よりも高めと考える。



注：1か月予報では、よく似た初期値から出発した10個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

4. 最近1週間（8月6日～8月12日）の天候の経過

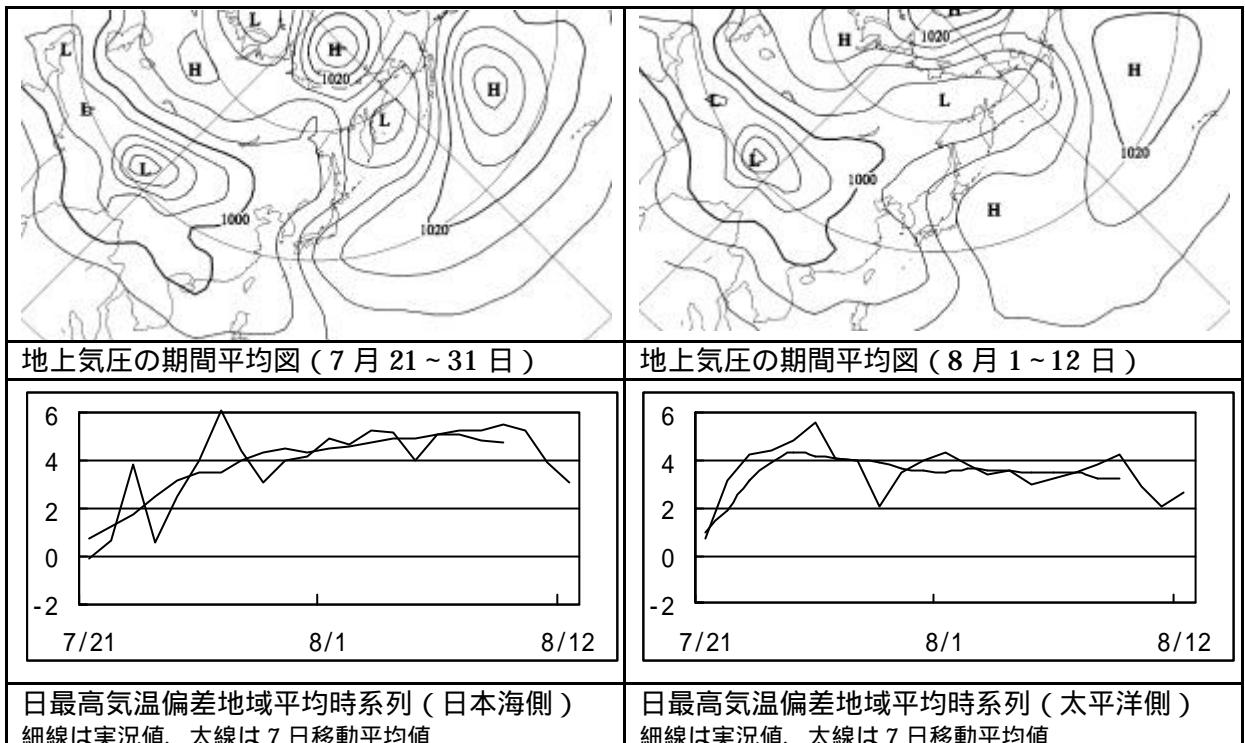
この期間、東北地方は太平洋高気圧に覆われ、日本海側を中心に暑い晴天がつづいた。10～12日にかけては、日本の南海上を北上してきた弱い熱帯低気圧の影響で大気の状態が不安定となり日本海側の所々で雷雨となった。また湿った東よりの風の影響で太平洋側南部では曇りの所が多くなった。平均気温は、東北全域の平年差が+3.3度と先週に引き続き高温状態が持続したが、太平洋側南部では+2度前後で著しい高温状態はおさまった。降水量は、北部で平年の44%、南部で1%と少なく、日照時間は、東北全域で平年の146%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

5. 7月下旬以降の気温と降水量の状況

7月下旬以降、東北地方は高温と少雨の状態が続いた。地上気圧配置の期間平均図から、7月下旬は太平洋高気圧の軸が本州の南海上から九州、朝鮮半島付近に延び、東北地方は南から高気圧に覆われ、広い範囲で高温となった。8月上旬は台風や熱帯低気圧が日本の南海上を北上してたため、太平洋高気圧の軸は東北地方から沿海州方面に延び、東北太平洋側の南部では東よりの海風が入りやすく高温状態は解消したが、日本海側では高温状態が続いた。このため、これまでの各地の最高気温は、太平洋側では7月下旬にでた所が多いが、日本海側では8月上旬にでた所が多くなった。また、いずれも太平洋高気圧の勢力は強く、晴れて雨の少ない状態が続いた。特に7月31日～8月10日にかけては無降水の所が多くなった。8月中旬に入ると太平洋高気圧の勢力は弱まり、東北地方は弱い熱帯低気圧の影響を受けやすくなり、このような高温、少雨の状態は概ね解消した。



7月21日～8月12日までの気温と降水量の状況

地 点	最高気温30 以上 の日数(日)	最高気温の極値			期間降水量(平年比)	
			起日	順位更新	mm	%
青 森	20	36.6	8月10日	2位	25.5	31
深 浦	12	33.1	8月3日	-	103.0	97
む つ	14	33.2	8月1日	-	18.0	22
八 戸	16	35.5	8月1日	-	10.5	11
秋 田	19	37.0	8月10日	2位	136.0	110
盛 岡	21	35.3	7月27日	-	25.5	21
宮 古	15	35.7	8月1日	-	10.5	12
大 船 渡	11	34.6	7月26日	-	8.5	8
山 形	22	37.8	7月27日	-	66.5	68
新 庄	20	36.9	7月27日	3位	53.5	48
酒 田	20	37.0	8月7日	4位	96.0	82
仙 台	19	33.9	7月27日	-	12.0	12
石 卷	5	32.9	7月25日	-	14.5	21
福 島	22	36.4	7月30日	-	35.5	41
白 河	20	32.8	8月4日	-	82.5	73
小名浜	9	31.5	8月10日	-	0.5	1
若 松	21	36.7	7月27日	-	76.0	83

* 日最高気温の順位更新は、全年(1～12月)の値の5位までを更新したもののみを記載した。

* 新庄の降水量平年比は累年平均値(1986～1996年)に対するものである。

* 酒田の降水量平年比は準平年値(1971～1990年)に対するものである。